

# 令和2年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

## 議 事 録

開催日時: 令和3年2月8日(月) 14:00～16:05

会 場: 埼玉建産連研修センター 3 階 大ホール

令和3年2月

埼玉県土木施工管理技士会

技術顧問 山口 勝

# 令和2年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

埼玉県土木施工管理技士会

開催日時：令和3年2月8日(月)

14:00～16:05

会 場：埼玉建産連研修センター

3階 大ホール

司会進行：技術委員長 井上 昭司

## 次 第

1. 挨拶 14:00～14:10  
埼玉県土木施工管理技士会  
会 長 松本 泰典  
埼玉県県土整備部建設管理課  
課 長 小高 巖 様
2. 出席者紹介 出席者名簿参照にて省略 14:10～14:15
3. 情報提供 14:25～14:50
  - ・建設管理課の取り組み 14:25～14:50  
建設管理課：副課長 伊藤 正経 様  
土木積算・建設IT担当 主幹 三谷 健太郎 様  
技術管理担当 主幹 宮澤 聡明 様
  - ・埼玉県技士会の紹介 14:55～15:05  
埼玉県土木施工管理技士会：技術顧問 山口 勝
4. 休 憩 15:05～15:15
5. 意見交換 15:15～16:00
  - ・提案議題の趣旨説明  
埼玉県土木施工管理技士会 技術顧問 山口 勝
  - ・意見交換
6. 閉会挨拶 16:00～16:05  
埼玉県土木施工管理技士会 副会長 根岸 清志

《新型コロナウイルス感染症防止対策として、検温、手指消毒、マスクの着用をお願いします。》

以上

# 配 布 資 料

## 1. 次 第

## 2. 出席者名簿

## 3. 座席表

資料-1 埼玉県県土整備部建設管理課  
「建設管理課の取り組み」

資料-2 埼玉県土木施工管理技士会  
「埼玉県技士会の紹介」

資料-3 令和2年度 意見交換会 提案議題

資料-4 令和2年度 意見交換会 提案議題 参考資料

**提案議題に対する埼玉県からの回答に関しては非公開としますが、回答についてご質問のある方は、下記にお問い合わせください。**

＜ 問合せ先 ＞ 埼玉県土木施工管理技士会 技術顧問 山口 勝

TEL: 049-229-5622(代表)

FAX: 049-229-5633(代表)

TEL: 049-298-3903(直通)

E-mail: m-yamaguchi.gisikai@waltz.ocn.ne.jp

# 令和2年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会 出席者名簿

埼玉県土木施工管理技士会					埼玉県県土整備部			
	支部名	役職名	氏 名	会 社 名		所 属	職 名	氏 名
1	川 越	会 長	松本 泰典	(株)関東建設	1	建設管理課	課 長	小高 巖
2	本 部	技術顧問 副 会 長	山口 勝	埼玉県土木施工 管理技士会	2		副課長	伊藤 正経
3	さい たま	副 会 長 支 部 長	根岸 清志	島田建設工業(株)	3		土木積算建設 IT 担当 主 幹	三谷健太郎
4	〃	副支部長	稲葉 雄三	(株)ユーディケー	4		土木積算建設 IT 担当 主 査	青木 智裕
5	〃	副支部長	小角 勝之	三ツ和総合	5		建設企画担当 主 査	高岡 秀光
6	〃	副支部長	松山 敏彦	(株)松永建設	6		技術管理担当 主 幹	宮澤 聡明
7	朝 霞	副支部長	手塚 秀夫	サクラ建設 (株)	7		技術管理担当 主 査	粕谷 直樹
8	北 本	支 部 長	中居 秀樹	(株)東 栄	8		技術管理担当 主 査	中野 泰博
9	〃	副支部長	梶山 健	梶山工業(株)	9	さいたま 県土	施工監理主幹	松本 丈夫
10	川 越	支 部 長	日向 貴一	日栄建設(株)	10	朝霞県土	施工監理主幹	大藏 裕介
11	〃	副支部長	水戸喜代志	(株) 太田組	11	川越県土	施工監理主幹	香取 裕司
12	飯 能	副支部長	高野 修	(株)加藤建設工業	12	飯能県土	施工監理主幹	田中 大輔
13	東松山	支 部 長	木川 克己	(株)田中工業	13	熊谷県土	施工監理主幹	南 信彦
14	〃	副支部長	鈴木 光由	(株) 島村工業	14	行田県土	道路相談担当課長	望月 良平
15	秩 父	支 部 長	守屋 一男	(株) 岩田組	15	越谷県土	施工監理主幹	増田 一路
16	〃	副支部長	田嶋 英久	守屋八潮建設 (株)	16	杉戸県土	施工管理担当課長	齋藤 義和
17	本 庄	支 部 長	鈴木 元道	(株) 関口組	17	総合技術 センター	主任工事検査員	鈴木 弘英
18	〃	副支部長	蛭川 修	真下建設 (株)				
19	熊 谷	支 部 長	丸橋 達雄	田部井建設(株)	※所要のため欠席 <b>【埼玉県】</b> 建設管理課 大原主幹、北本県土 奥重主幹 東松山県土 齋藤主幹、秩父県土 岡本主幹 本庄県土 吉澤主幹、西関東連絡道路 菅原部長 鉄道高架 濱田部長、総合治水 根岸副所長 <b>【埼玉県技士会】</b> 朝霞支部 水久保支部長、飯能支部 駒井支部長			
20	〃	副支部長	榎本 修	古郡建設(株)				
21	行 田	支 部 長	小暮 一男	こぐれ建設 (株)				
22	〃	副支部長	小賀野真弘	小川工業(株)				
23	越 谷	支 部 長	金澤 嘉和	池中建設(株)				
24	〃	副支部長	佐藤 孝治	須合建設(株)				
25	杉 戸	支 部 長	井上 昭司	(株)井上工務店				
26	〃	副支部長	星野 暢良	星野工業 (株)				

# 提案議題一覧

## 1. 設計・積算に関すること

- 1 積算に関する資材単価について
- 2 作業時間に制約がある工種の積算について

## 2. 総合評価方式に関すること

- 1 継続教育（CPD）の取組みの評価と対象工事の拡大について
- 2 CPDの評価について
- 3 インターンシップ期間の評価について

## 3. 設計変更に関すること

- 1 設計変更について

## 4. 業務の効率化、生産性の向上、働き方改革に関すること

- 1 インターネットを用いた業務の効率化について
- 2 埼玉県版土木工事書類作成マニュアルの策定について

## 5. その他、意見・要望

- 1 建設発生土の有効利用について
- 2 週休2日制の対象工事について
- 3 積算時の工事工程の明示について
- 4 担当監督員の引継ぎについて

## 6. 再要望事項

これまでの意見交換会に取り上げた内容となりますが、今回も多く挙げられた主な要望

- 1 設計図書（設計コンサルの成果品）の品質向上について
- 2 発注（入札）段階での施工に影響を及ぼす諸条件の明示について

## 令和2年度 埼玉県県土整備部との意見交換会 提案議題

### 1. 設計・積算に関すること

#### 提案議題 1

##### 積算に関する資材単価について

#### 提案内容（趣旨）

積算参考資料の資材単価表には、資料①には、全ての決定単価の記載がありますが、資料②には、決定単価が記載されておりません。品名の規格・寸法がわからない場合は、質問させていただくこととなりますが、記載して問題ないのであれば、記載していただきますようお願いします。 【資料 - 1 参照】

#### 提案議題 2

##### 作業時間に制約がある工種の積算について

#### 提案内容（趣旨）

道路使用に時間的制約がある場合、積算の標準作業時間が確保できません。  
時間的制約が伴う工事については、発注段階で労務費等の割り増しによる積算をしていただきたい。  
発注段階での積算が困難な場合は、現状に見合った適切な設計変更をお願いします。 【資料 - 2 参照】

### 2. 総合評価方式に関すること

#### 提案議題 1

##### 継続教育（CPD）の取組みの評価と対象工事の拡大について

#### 提案内容（趣旨）

全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）の目的は、技術者が自己研鑽の活動を通じて、国民の福祉に役立つ良質な目的物を創造するための技術力と資質の向上を図ることにあります。

2020年1月現在、全国技士会のCPDS加入者数は16万人を超え、国土交通省など多くの発注機関により技術者の評価基準として活用されています。

現在、情報通信技術をはじめ現場で使用する技術は、日進月歩で進化しています。また、現場の生産性向上や働き方改革等に適切に対応するためにも継続学習は必要不可欠です。

前回の改定（令和2年5月 Ver15）では、土木Ⅰ型が必須評価項目として新規に設定していただきましたが、次回の改訂では、土木Ⅱ型、Ⅲ型においても「継続教育（CPD）の取組み」を評価の対象としてご検討いただきますようお願いします。

## 令和2年度 埼玉県県土整備部との意見交換会 提案議題

### 2. 総合評価方式に関すること

#### 提案議題 2

##### CPDの評価について

#### 提案内容（趣旨）

現在、新型コロナウイルス感染症の影響によりCPD取得の対面式講習が減っており、参加人数も制限を受けている状況にあります。

また、全国技士会では、インターネット学習による年間取得ユニットの上限があることから推奨単位の取得が困難な状況です。（上限を6ユニットとする）

今後もコロナの影響が続くものと思われますが、「継続教育（CPD）の取組み」の評価基準について、現行の推奨単位数や証明期間等の見直しを考えておられるのかご教示をお願いします。

#### 提案議題 3

##### インターンシップ期間の評価について

#### 提案内容（趣旨）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インターンシップの実施が困難な状況にあることから、現行の過去2年度間の受入期間を過去3年度間に緩和していただきたくご検討をお願いします。

### 3. 設計変更に関すること

#### 提案議題 1

##### 設計変更（工事の一時中止）について

#### 提案内容（趣旨）

現在、概算数量で発注される工事が多くみられます。

ここで、契約時と完成時の数量などが大きく相違する場合や河川が絡む工事においては、3年度にまたがって完成するといったケースも見られます。

このような場合には、埼玉県実務要覧（平成31年4月）埼玉県土木工事設計変更ガイドライン「(9) 受注者の責によらない事由による工事の一時中止」に則った速やかな手続きと適切な対応をしていただきますようお願いいたします。

（埼玉県実務要覧 P1075 参照）

## 令和２年度 埼玉県県土整備部との意見交換会 提案議題

### ４．業務の効率化、生産性の向上、働き方改革に関すること

#### 提案議題 １

##### インターネットを用いた業務の効率化について

#### 提案内容（趣旨）

国土交通省では、ＡＳＰ（受発注者間 工事情報共有システム）が本格運用され、工事情報の共有及び業務の効率化を図っています。

埼玉県の発注工事においても受発注者間の情報の共有化に向けた取組をお願いします。

例えば、電子メールの活用拡大など。

#### 提案議題 ２

##### 埼玉県版土木工事書類作成マニュアルの策定について

#### 提案内容（趣旨）

働き方改革を進める上で、長時間労働を解決しなければなりません。

それには書類の簡素化が重要であり、各社、工夫を重ねＩＴを活用し効率化を図っているところではあります。

埼玉県でも書類の簡素化を進めていただいているところですが、まだまだ労働時間を短縮できるレベルにありません。

また、監督職員、検査員によっては、提出書類について要求が異なる場合があります。

受発注者間で、指針となる埼玉県版土木工事書類作成マニュアルの策定をお願いします。

### ５．その他、意見・要望

#### 提案議題 １

##### 建設発生土の有効利用について

#### 提案内容（趣旨）

工事で発生する土砂については、仮置場や処分先が明示されていますが、当該の仮置場では、搬入・搬出数量に対応できない場合や受入れ条件（土質、時期等）が一致せず、工事の中断や工期延長となる場合があります。

については、県土整備事務所間で、土砂情報を共有できるようなシステムを作っていただき土砂の利活用が円滑にできるようお願いします。



## 令和2年度 埼玉県県土整備部との意見交換会 提案議題

### 5. その他、意見・要望

#### 提案議題 2

##### 週休2日制の対象工事について

#### 提案内容（趣旨）

埼玉県における週休2日制対象工事の今後の取組についてご教示をお願いします。

#### 提案議題 3

##### 積算時の工事工程の明示について

#### 提案内容（趣旨）

積算時の工事工程を明示していただきますようお願いします。（特に、週休2日制対象工事）

#### 提案議題 4

##### 担当監督員の引継ぎについて

#### 提案内容（趣旨）

人事異動で、担当監督員が代わり、前任者との打合せた内容が伝わっておらず、再打合せとなり、現場に乗り込むまでに時間を要した。

担当監督員が代わる場合は、引継ぎを確実にこなっていただきますようお願いします。

## 令和２年度 埼玉県県土整備部との意見交換会 提案議題

### 6. 再要望事項

これまでの意見交換会に取り上げた内容となりますが、今回も多く挙げられた  
主な要望

#### 1. 設計図書（設計コンサルの成果品）の品質向上について

設計図書に関しては、依然として、発注図と現場とが違う。設計条件と現場条件とが一致しない。設計の施工方法では現場での施工ができない。といった設計図書と現場との齟齬については多くの声があがっております。

このような場合は、現地調査をはじめ、変更資料（図面・数量等）の作成、変更協議などに多くの時間と労力を要するとともに、工事着手の遅れ、経費の増加、長時間労働や休日出勤に繋がる大きな要因となっています。

現場の生産性の向上、働き方改革を進めるためにも、品質の高い設計図書（設計コンサル成果品）をもって発注していただきますようお願いいたします。

【資料 - 3】 2020.9.28 日経コンストラクション  
特集 使えない設計 (P28～P41 : P40 抜粋)

#### 2. 発注（入札）段階での施工に影響を及ぼす諸条件の明示について

受注前に施工に影響を及ぼす諸条件が把握できるよう、例えば、支障物件がある場合は、「支障物の内容および管理者、位置、移設時期、防護の必要有無、工事着手可能時期など」また、協議未了の場合には「協議内容、解決見込み時期など」詳細情報を特記仕様書に明記するようお願いいたします。

## 令和2年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

開催日：令和3年2月8日（火）14:00～16:10

会場：埼玉建産連研修センター 3階大ホール

埼玉建設新聞 2021年（令和3年）2月17日（水）

## 県土木施工管理技士会

## CPD拡大など要望

## 県土整備部と懇談会開く



活発な情報交換が行われた

埼玉県土木施工管理技士会（松本泰典会長）と県土整備部との技術懇談会が8日、さいたま市内の埼玉建産連研修センターで開かれた。技士会からは設計・積算をはじめ、総合評価方式や設計

変更など14項目を議題として提案。例年であれば、県内12支部からそれぞれ県へ要望が出されるが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、技士会で技術顧問兼副会長を務める

山口勝氏が代表して、県とのやり取りを進めた。

冒頭、松本会長が事業活動の重要性を強調し

「どのような中においても事業を進めていくことが会員の技術力向上、ひいては着実な成果につながる。きょうの要望・意見に対する県からのご指導も同様で、本日が有意義な会となれば」と期待した。

県からは建設管理課の小高巖課長が登壇。県民の安全・安心、経済の下支えに公共事業が必要とし、そのためのさらなる協力を技士会へ求めた。

また、小高課長は国土強靱化への取り組みとともに、業界の働き方改革と生産性向上にも期待。工事現場での週休2日制モデル工事の導入やICT活用工事の試行拡大を説

明。受発注者が互いの立場を理解した上での意見交換が円滑な公共事業の執行につながることを意気込んだ。その後、情報提供といった形で県側と技士会側がそれぞれ取り組んでいる施策や事業活動などを紹介。県側は同課の担当職員が、技士会側は山口技術顧問が説明に立ち、情報を共有した。

休憩ののち、意見交換がスタート。まず、技士会は積算参考資料の決定単価の公表や時間的制約を受ける公共土木工事の補正、継続学習制度（CPD）の評価対象工事の拡大を要望。とりわけ、CPDに対し、県側が事前アンケートで大規模工事への評価要望が多かったことを明かし「国や他県の事例を参考に、今後研究していきたい」と評価対象工事の拡大に向け、前向きな姿勢を示した。また新型コロナウイルス感染症の影響により、CPD取得の対面式講習が減少していることから、技士会は「CPD

評価基準の推奨単位数や証明期間の見直しをお願いしたい」と要望。これに対し、県側は事前アンケートで約7割が評価基準の緩和を望んでいることを踏まえ、専門家から構成される総合評価方式の第三者委員会の委員へ聴取した上で検討したい旨を技士会側へ伝えた。

その後もインターンシップ期間の評価や工事の一時中止への適切な対応、建設発生土の有効活用、積算時の工事工程の明示などについて受発注者間で議論を交わした。さらに、これまでの意見交換でも議題に挙がった設計図書と現場との乖離、支障物件など施工に影響を及ぼす諸条件の発注段階での明示について再度、県側へ理解を求めた。

閉会時には、技士会の根岸清志副会長が「われわれが提案したことが現場で起きていることをご理解いただき、早期の対応をお願いしたい」と総括した。

評価基準の推奨単位数や証明期間の見直しをお願いしたい」と要望。これに対し、県側は事前アンケートで約7割が評価基準の緩和を望んでいることを踏まえ、専門家から構成される総合評価方式の第三者委員会の委員へ聴取した上で検討したい旨を技士会側へ伝えた。

その後もインターンシップ期間の評価や工事の一時中止への適切な対応、建設発生土の有効活用、積算時の工事工程の明示などについて受発注者間で議論を交わした。さらに、これまでの意見交換でも議題に挙がった設計図書と現場との乖離、支障物件など施工に影響を及ぼす諸条件の発注段階での明示について再度、県側へ理解を求めた。

閉会時には、技士会の根岸清志副会長が「われわれが提案したことが現場で起きていることをご理解いただき、早期の対応をお願いしたい」と総括した。

評価基準の推奨単位数や証明期間の見直しをお願いしたい」と要望。これに対し、県側は事前アンケートで約7割が評価基準の緩和を望んでいることを踏まえ、専門家から構成される総合評価方式の第三者委員会の委員へ聴取した上で検討したい旨を技士会側へ伝えた。

その後もインターンシップ期間の評価や工事の一時中止への適切な対応、建設発生土の有効活用、積算時の工事工程の明示などについて受発注者間で議論を交わした。さらに、これまでの意見交換でも議題に挙がった設計図書と現場との乖離、支障物件など施工に影響を及ぼす諸条件の発注段階での明示について再度、県側へ理解を求めた。